

令和 5 年台風第 6 号に関する被害状況等について（第 5 報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1 気象状況 気象庁発表（8/5 08:00）

- 台風第 6 号は、2 日に沖縄本島地方に接近し、沖縄本島地方では 50 メートルを超える最大瞬間風速を観測した。また、過去最高潮位を上回った地点があった。
- 台風は、5 日 8 時には久米島の北にあって東北東へ進んでおり、これから、6 日にかけて沖縄地方や奄美地方にかなり接近する見込み。沖縄地方や奄美地方では台風の影響が長引く。その後、台風は日本の南で次第に進路を北へ変え、勢力を強めて北上するため、西日本から東日本でも次第に台風の影響が強まる見込み。
- 台風の影響で、沖縄地方を中心に猛烈な風が吹き、猛烈なしけとなっている。沖縄地方や奄美地方では、6 日にかけて猛烈な風が吹いて猛烈にしける所がある。九州南部でも 6 日は猛烈なしけとなる。その後は、これらの地域に加えて、九州及び西日本から東日本にかけての太平洋側でも、暴風や高波となるおそれがある。
- 台風の接近と大潮の時期が重なるため、沖縄地方や奄美地方では潮位が高くなる所がある。沖縄地方では 5 日は、奄美地方では 6 日にかけて、高潮や高潮と重なりあった波浪による浸水害が発生するおそれがある。
- 台風本体や台風周辺の発達した雨雲により、沖縄地方では 6 日にかけて、奄美地方では 8 日にかけて、九州及び西日本から東日本にかけての太平洋側では 6 日から 9 日にかけて、雷を伴った大雨となるおそれがある。その後も、台風の進路によっては大雨が続くおそれがある。沖縄地方では 5 日午後から 6 日午前中にかけて、奄美地方では 5 日午後から 6 日日中にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある。
- 沖縄地方や奄美地方では、暴風やうねりを伴った高波、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。九州南部でもうねりを伴った高波に厳重に警戒。落雷や竜巻などの激しい突風に注意。

2 体制等

- 警戒体制：沖縄総合事務局、気象庁
- 注意体制：本省、九州地整、国土地理院、国総研

3 一般被害情報（消防庁 HP 8/4 13:00 時点）

- 住家被害
 - ・半壊 4 棟（沖縄 4）

- ・ 床上浸水 5 棟 (沖縄 5)
- ・ 床下浸水 1 棟 (沖縄 1)

4 被害情報等

(1) 河川 (8/5 08:30 時点)

- ・ 被害情報なし

(2) ダム (8/5 09:00 時点)

- 洪水調節 (事前放流を含む) を実施 22 ダム
22 ダムのうち、事前放流の基準に達したダム 21 ダム
 - ・ 事前放流を実施 13 ダム (うち、利水ダム 9)
 - ・ すでに事前放流の容量を確保 8 ダム (うち、利水ダム 3)
- ※基準降雨量との関係やダムの運用について評価中であり、数値が変更となる場合があります。

(3) 砂防

- 土砂災害 (8/5 10:00 時点)
 - ・ 2 件 (宮崎県 1、沖縄県 1)
人的・人家被害なし
- 土砂災害警戒情報 (8/5 09:00 時点)
1 県 6 市町村に発表 (沖縄県)
※全て解除済み

(4) 道路 (8/5 09:00 時点)

- 高速道路
被災による通行止め：なし
雨量基準超過等による通行止め：なし
- 有料道路
被災による通行止め：なし
雨量基準超過等による通行止め：なし
- 直轄国道
被災による通行止め：なし
雨量基準超過等による通行止め：2 路線 3 区間
 - 国道 58 号 (沖縄県宜野湾市～浦添市) : 強風
 - 国道 331 号 (沖縄県豊見城市) : 強風
 - 国道 331 号 (沖縄県糸満市) : 強風
- 補助国道
被災等による通行止め：1 路線 1 区間
 - 国道 449 号 (沖縄県名護市) : 路面冠水
- 都道府県道等

被災等による通行止め：2 県 2 区間

宮崎県 1 区間（路肩崩壊 1）

沖縄県 1 区間（倒木 1）

(5) 鉄道（8/5 09:00 時点）

<新幹線>

【運転を見合せている路線】：なし

【今後、運転を見合せる予定の路線】：なし

<在来線>

【運転を見合せている路線】：1 事業者 1 路線

沖縄都市モノレール：沖縄都市モノレール線

【今後、運転を見合せる予定の路線】：なし

(6) 航空（8/5 08:00 時点）

○運航に支障となる空港施設等の被害情報なし

○運航への影響

1 日 欠航便 476 便（JAL95 便、ANA124 便、その他 257 便）

2 日 欠航便 475 便（JAL97 便、ANA124 便、その他 254 便）

3 日 欠航便 304 便（JAL76 便、ANA75 便、その他 153 便）

4 日 欠航便 206 便（JAL14 便、ANA42 便、その他 150 便）

5 日 欠航便 423 便（JAL95 便、ANA102 便、その他 226 便）

(7) 海事（8/5 08:30 時点）

○被害状況等

・なし

○運休状況等

・ 33 事業者 35 航路運休

(8) 港湾（8/5 08:30 時点）

○港湾施設（海岸保全施設を含む）の被害状況

・ 中城湾港（沖縄県）にて、一部護岸の損傷あり。港湾利用に支障なし。

○利用規制

・ 泊大橋、なうら橋、カーミージ橋（那覇港の臨港道路）：

8/1 通行止め、8/3 解除、8/5 通行止め

・ サザンゲートブリッジ（石垣港の臨港道路）：

8/2 通行止め、8/3 解除

(9) 自動車 (8/5 08:00 時点)

○運休状況等

- ・ 高速バス：運休、一部運休なし
- ・ 路線バス：10 事業者 16 路線運休、一部運休なし
- ・ 宅配事業者：大手 4 事業者において一部地域で集配遅延等

(10) 海岸 (8/5 09:00 時点)

- ・ 名護市汀間海岸（沖縄県管理）：道路維持工事で設置した仮設道路護岸が崩壊。（家屋等への影響なし）

(11) 物流施設 (8/5 08:30 時点)

- ・ 沖縄県の営業倉庫 3 棟において壁、扉の一部損壊等（営業に影響なし。）

(12) その他（下水、公園・都市、観光）関係の状況

- ・ 被害情報なし

5 国土交通省の対応

(1) 災害対策本部会議等

○国土交通省災害対策連絡調整会議（7/31、8/3）

(2) 記者会見等

○共同取材（気象庁、水管理・国土保全局 8/4 14:00）

(3) ホットライン構築状況

沖縄の 41 市町村とホットラインを構築（沖縄 41）

(4) TEC-FORCE 等

○8/5 は派遣予定なし

6 気象庁の対応

○気象庁災害対策連絡会議を開催（8/4）。

○気象庁では気象情報等を適時に発表し、報道機関を通じて警戒の呼びかけを実施。

○8/4 には水管理・国土保全局と合同で報道機関に対し解説を実施。

○各地の气象台は、警報等を適時に発表するとともに、JETT（気象庁防災対応支援チーム）の派遣（のべ 22 人・日）やホットライン等により、警戒を要する自治体等に今後の見通しについて解説を実施。

7 海上保安庁の対応（8/5 08:30 現在）

(1) 体制

○第十管区海上保安本部

非常配備発令

○第十一管区海上保安本部

非常配備発令

(2) リエゾン派遣

8/4 沖縄県 (2名)

(3) 被害状況

○沖縄県石垣市沖で乗揚げていたパナマ籍貨物船の船尾部が破断 (8/4)

「XIN HAI ZHOU 2」の船尾部が破断し、転倒している状況を確認。現在まで油の流出認めず。

(4) 自治体等からの要請

○沖縄県 (沖縄電力)

停電復旧作業のため、渡嘉敷島、座間味島、伊是名島への資機材及び人員の搬送要請、大神島への人員の搬送要請

→対応可否検討中

○沖縄県 (NTT 西日本)

停電復旧作業のため、渡嘉敷島、座間味島への資機材及び人員の搬送要請

→対応可否検討中

(5) 航行警報等の発出状況

①航行警報 5件

②海の安全情報 11件

(6) 港湾における避難勧告等の発出状況

①第一体制 (警戒勧告) 11港

②第二体制 (避難勧告) 8港

③臨海部の施設周辺海域での錨泊制限の状況

7/30 那覇空港

7/30 吉の浦火力発電所

7/30 沖縄石油基地

7/30 沖縄ターミナル

7/31 志布志国家石油備蓄基地

(7) 当庁施設等の被害状況

- ・喜屋武埼灯台 (消灯)
- ・那覇港第四号灯浮標 (消灯)
- ・伊平屋島灯台 (消灯)
- ・金武中城港石川第二灯浮標 (漂着)

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 小林
代表：03-5253-8111 内線35-822
直通：03-5253-8461